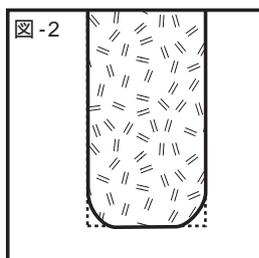
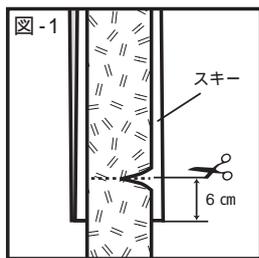


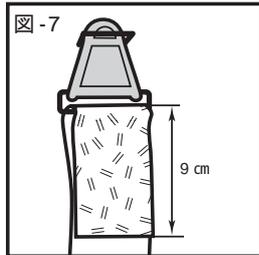
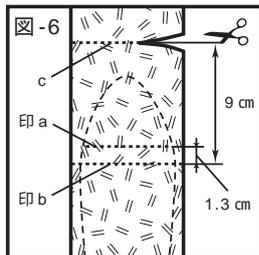
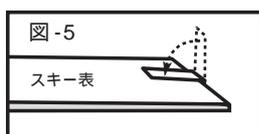
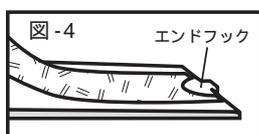
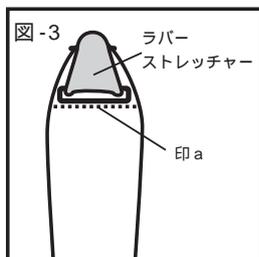
スタンダードスキンの取り付け方

1. スキンからリリースペーパーを剥がして下さい。金属プレートをスキートップに取り付け、スキンをスキーの滑走面に貼り付けて下さい。スキンはスキーの滑走面の中心に沿って真っ直ぐ貼り付けて下さい。
2. スキンの余った部分をスキーテールから約6cm短い位置ではさみで切って下さい(図-1)。スキンの両角は丸く切り落として下さい(図-2)。これはスキンを剥がれにくくするためです。
3. 金属ループホルダー上の白いスペースはスキンの持ち主の名前を書く場所です。
注意: ワイドスキンをお使いの場合、この後の「サイドカットトリムの方法」をお読み下さい。



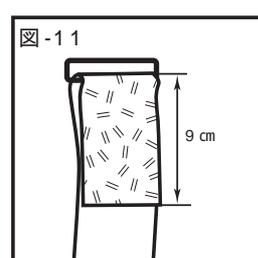
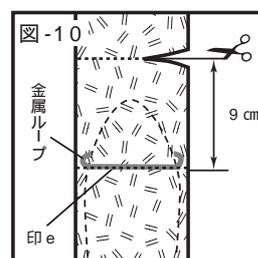
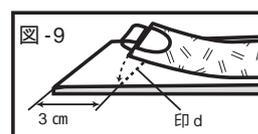
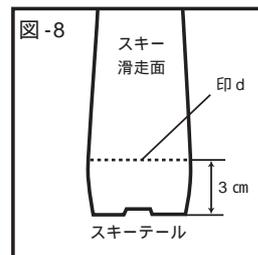
TTP(ユーロスタイル)スキンの取り付け方

1. ラバーストレッチャーの小さい方の金属ループをスキーのトップに通します。ラバーストレッチャーが伸びてない状態で、大きい方の金属ループの後端の位置をスキー滑走面に印して下さい(図-3 印a)。印はスキー両エッジまで引いて下さい。
2. スキン後端(エンドフックが付いている方)のリリースペーパーを約20cm剥がし、エンドフックをスキーテールの中央に合わせてスキンを貼り付け(図-4)、エンドフックをスキーテールの形状に合わせて曲げて下さい(図-5)。残りのリリースペーパーを剥がし、手順1で付けた印の位置(図-3 印a)までスキンを滑走面に貼って下さい。
3. 手順1で付けた印(図-6 印a)からテールに向かって13mmの位置を測り、その位置のスキン上に印を付けて下さい(図-6 印b)。この位置がスキンを金属ループに通した後折り曲げる位置です。
4. 手順3で付けたスキン上の印(図-6 印b)からトップに向かって9cmの位置(図-6 c)でスキンをカットして下さい。ラバーストレッチャーの大きい方の金属ループにスキンを通し、手順3で付けたスキン上の印の位置(図-6 印b)で折り曲げて下さい。これでラバーストレッチャーを引っ張ってスキートップに取り付けるための十分な張力が得られます(図-7)。
注意: 1つのスキンを複数のスキーで使用する場合は、最も長いスキーに合わせてスキンをカットして下さい。短いスキーに使用する場合はスキンの折り返し量を調整してください。
5. TTP(ユーロスタイル)スキンは最初にエンドフックをスキーテールに引っ掛け、スキンをスキー滑走面にしっかりと押さえつけながら貼り付け、最後にラバーストレッチャーを引っ張ってスキートップに取り付けて下さい。剥がすときはこの逆の手順で行って下さい。
注意: 幅80mm以上のスキンの場合、ラバーストレッチャーの金属ループに通すためにスキンの両端を一部カットする必要があります。詳しくはこの後の「ティップトリムの方法」をお読み下さい。



クリップフィックススキンの取り付け方

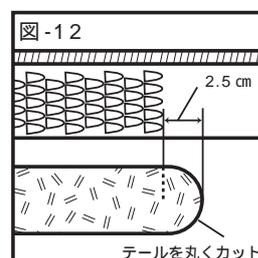
1. スキーテールからトップに向かって約3cmの滑走面上に印を付けて下さい(図-8 印d)。
2. スキンのリリースペーパーを剥がし、テール後端(クリップが付いている方)を手順1で付けた印の位置(図-9 印d)に合わせて貼り付けて下さい。
3. スキンをスキーの中心線に沿わせて真っ直ぐ貼り付けて下さい。
4. 金属ループをスキートップに取り付けて下さい。金属ループとスキンが交わるスキン上の位置に印を付けて下さい(図-10 印e)。この位置が後でスキンを金属ループに通して折り曲げる位置です。
注意: 幅80mm以上のスキンの場合、金属ループに通すためにスキンの両端を一部カットする必要があります。詳しくはこの後の「ティップトリムの方法」をお読み下さい。
5. 手順4で付けたスキン上の印(図-10 印e)からトップに向かって9cmの位置でスキンをカットして下さい。
6. 金属ループにスキンを手順4で付けた印(図-10 印e)の位置まで通し、スキンを折り曲げて下さい(図-11)。スキンを折り曲げる位置を前後させることでクリップフィックスの張りの強さを調整できます。
7. クリップフィックススキンは、まず金属ループをスキートップに取り付け、スキーを上下逆さにし、クリップをスキーテールに引っ掛け、スキンをスキー滑走面にしっかりと押さえつけながら貼り付けて下さい。剥がすときはクリップを外し、スキンを剥がした後、金属ループをスキートップから外します。



警告: クリップフィックスシステムはスキンのベース生地に張力を加えています。雪質や気温によりこの張力は若干変化します。決して張りすぎないように注意して下さい。スキンのベース生地を傷めてしまいます。

キッカースティッカーの取り付け方

1. スキンのリリースペーパーを剥がしスキー滑走面のキックゾーンがスキンの真ん中に位置するように貼り付けて下さい。ワックスレススキー(滑走面にカットソールパターンがあるスキー)の場合、スキンの後端がカットソールパターンの2.5cmテール側に位置するように貼り付けて下さい(図-12)。カットソールパターン上にスキンの末端があると剥がれやすいからです。
2. スキンの先端にあるストラップをスキー上部に回し、カムロックで締めて下さい。スキンのスライダーがスキー滑走面に密着するようにストラップをしっかりと締めて下さい。



注意: スキン後端の両角は、剥がれにくくするためにはさみで丸く切り取って下さい(図-12)。

ティップトリムの方法(80 mm以上のスキンの場合)

1. 金属ループにスキンを通すために、付属のトリムテンプレートを使用してカットします。

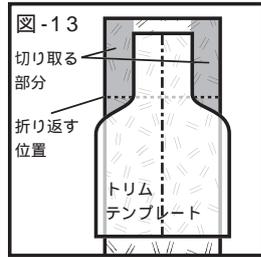
注意: トリムテンプレートには裏表があります。必ず表面のつるつるした面(印刷の無い面)をスキンに貼り付けて下さい。

2. スキンの毛足を見てスキンの前後方向を確認して下さい。スキンの前端の接着面側にトリムテンプレートを貼り付けます。

このときトリムテンプレートは先が細くなっている方を前方に向け、スキンの中心とテンプレートの中央線を合わせ、金属ループを通した後で折り曲げる位置(スキンの取り付け方参照)とテンプレートが太くなり始める部分を合わせて、真っ直ぐに貼り付けて下さい(図-13)。

3. 良く切れるはさみを用い、トリムテンプレートの形に合わせてスキンをカットして下さい。スキンに金属ループを通し、スキンの幅が変わる部分で折り曲げて下さい。

注意: スキンをトリムテンプレートに合わせてカットするときはトリムツールを使用せず、必ずはさみを使って下さい。トリムツールは強い曲線をカットすることが出来ません。



使用上の注意

スキンを保管する場合は必ず接着面どうしを張り合わせた状態で保管して下さい。一番良い方法はスキンの両端を真ん中に向かって折り曲げる(三つ折りにする)ことです。二つ折より三つ折りの方がスキーに貼り付けるときに容易です。



スキンを長時間使わないで保管するときは接着面どうしをしっかりと張り合わせ、接着面が露出しないようにして下さい。保管場所は32℃以下の乾燥した場所を選んで下さい。

気温が非常に低いときはスキンの接着力を維持するためにジャケットの内側に入れて体温で暖めながら携帯して下さい。

スキンの接着面に雪が付着しないように注意して取り扱って下さい。雪が付着した場合はグローブで丁寧にたたき落として下さい。素手で落とすと体温で雪が溶けて接着力が低下しますので注意して下さい。

スキンを貼る前にスキー滑走面の水分を丁寧にふき取って下さい。

寒暖の差が激しいときはスキー滑走面に付着した水分が凍り付くことがあります。事前にアセンションのグロップストッパーリキッドやワックスを塗って撥水処理を行って下さい。

貼り付けタイプのスキンは接着力が最も重要です。スキンの接着剤が部分的に剥がれたり、接着性能が低下した場合は、迷わずアセンション・ゴールドラベル接着剤を塗り足して下さい。スキン全体の接着性能が低下した場合は古い接着剤を落として塗り直す必要があります。

サイドカットトリムの方法

1. スキンの長さ調整が終わった後、スキンをスキー滑走面にまっすぐに貼り付けて下さい。

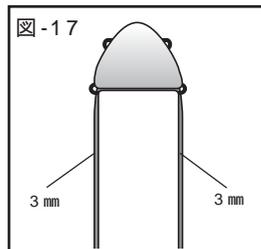
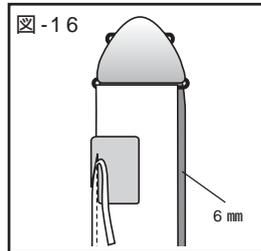
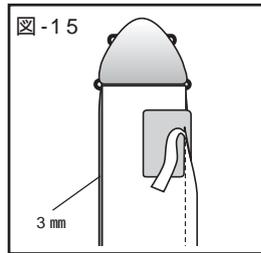
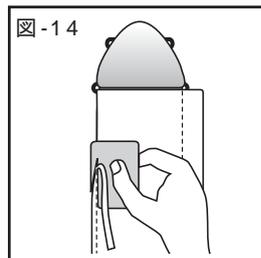
2. スキン左側のはみ出した部分をトリムツールでスキーのトップからテールまでスキーエッジに沿って切り取って下さい(図-14)。

3. スキンをいったんスキーから剥がし、再度貼り付けます。この時手順2でトリムされたスキン左側がスキー左エッジの3 mm内側に位置するように貼り付けて下さい。つまりスキンを貼り付けた後、スキー左エッジと滑走面が合計3 mm露出する状態に貼り付けて下さい(図-15)。

4. スキン右側のはみ出した部分をトリムツールでスキーのトップからテールまでスキーエッジに沿って切り取って下さい(図-15)。

5. スキンをいったんスキーから剥がし、再度貼り付けます。この時手順4でトリムされたスキン右側がスキー右エッジの6 mm内側に位置するように貼り付けて下さい。つまりスキンを貼り付けた後、スキー右エッジと滑走面が合計6 mm露出する状態に貼り付けて下さい(図-16)。

6. スキン左側を手順2と同じ要領で切り取って下さい(図-16)。スキンを剥がしてスキーの中心線に沿って貼り直すと、スキーの両エッジが3 mmずつ露出する幅にカットされたことがわかります(図-17)。



警告

スキーは危険を伴う行為です。本製品をご使用になる方は、道具の正しい使い方と、正しいスキーテクニックを習得する責任があります。またスキーには本来、死亡や重傷を負う可能性があります。本製品はスキー専用設計されていますので、他のいかなる目的にも使用しないで下さい。誤った使い方をすると、死亡や重傷を負う可能性があります。

アセンション日本総代理店 株式会社ロストアロー

〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折 1386-6

Tel=049-271-7111(代表)

Fax=049-271-7112

e-mail: info@lostarrow.co.jp